

翔 たけ

題字 小笠原 孝

第24号

平成28年10月1日

発行

一般財団法人

小笠原アカデミー

教育振興財団

理事長

小笠原 孝

事務局

〒040-0016

〈連絡事務所〉

〒040-0016

函館市海岸町9-18

TEL 0138-84-5396



地域の明るい展望は 教育から

学校法人野又学園
理事長 野又 淳司

現在、日本中で人手不足です。本学園にも企業の方々が求人にいらいやいますが、「少子化なので学校にも人があまりいません」とお答えすることが増えました。経済は需要だけあっても成立せず、供給する能力がなければなりません。私たちは早急に「供給力対策」を施さなければなりません。

その対策とは、単に人口を増やす「少子化対策」とは異なります。一人ひとり、私たち大人たちを含めた能力開発、生産性向上が必要です。しかしながら、職場が人手不足では、自らの能力開発の時間も確保できなくなってしまう。少子化に端を発する悪循環に、国、地方で一丸となって立ち向かう必要があるのです。

入社員の質の向上です。高度な知識・技能を身に着け、主体的に行動し学び続けることができる人材を社会に送り出すことで、労働人口の減少に賢く対策していくのが理にかなった考え方です。新入社員に力があれば、既存の社員の能力開発も可能になり、悪循環を脱することが出来ます。

文部科学省中央教育審議会の近年の答申では、2つの大きな動きがあります。

一つは、高等学校基礎学力テストの導入など、高大接続改革です。高校までには十分な勉強がなされていないのではなか、同じ高校生であるのに学力格差が大きいのではないかと、という考えのもと、同テストでは相対的ではなく絶対的な学力の客観的評価を行い、高等学校校までの教育改善を行うというものです。

テストと聞くと嫌な気持ちになる人が多いですが、私はテストとは学生の達成度を測り学校教育を改善するために必要不可欠なものだと思っています。テストを問題とすべきなのは、学生にテストを課すのに、教える側である学校の教育方法に進歩・改善の姿勢が見られない場合なのです。高等学校基礎学力テストを課される以上、高等学校にはこれまで以上に教育改善の責任が課されますが、本学園もしっかりと準備をしていきたいと考えています。

今一つは、新しい学校種である「専門職業大学」の新設です。現在、高等学校を卒業したあとの進路としては、大学・短期大学・専修学校があります。海外ではポリテクニクという大学相当の高等教育機関を設置している国もありますので、これを参考にして専修学校の

の高度化を図ろうとしています。高等教育段階は複雑化されています。どの国の制度がよいということもなく、日本の高等教育制度も十分優れていると考えます。ではなぜ今、専門職業大学が必要なのでしょう。それは、なんとなく大学に進学してあまり勉強しないような若者が増えるよりも、卓越した技能等を磨いて職業生活を営むことを目指すスペシャリスト志向の若者が増えるべきという考えが根底にあります。本学園は国家資格を付与する職業教育を志向してきましたので、この専門職業大学がどのような制度になっていくのか注視していきたいと思っています。

このような高等学校と大学・短期大学・専門学校を取り巻く、大きな教育改革の流れにしっかりと対応することで、地域の明るい展望も開けてくると信じております。

そのためにも、一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団ならびに関係機関各位におかれましては旧来と変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



全国大会出場で翔たく3団体に激励の遠征費助成!!

附属函館ファイターズ(少年バレーボールチーム)

☆☆☆ 全国大会に参加して ☆☆☆

- 佐藤耀人(主将) 全国大会という貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。ひろって、つなぐ附属のバレー 最後まであきらめずに頑張るぞ!!(前日)はじめての全国大会、とても楽しかったです。他県の友達もたくさん出来ました。結果は第3位ですが、試合内容は満足です。でも、やっぱり負けは、くやしいです。
- 岡村慧斗 ぼくは、今まで経験したことのない場面でもとても緊張していましたが、チームメイトが良いプレーをすると、だんだん緊張がほぐれてきました。ぼくは、全国大会でチームメイトの大事さをまなびました。
- 東口楓斗 ぼくは、バレーのおもしろさを学びました。勝ち負けに関係なく、思い切りプレーをしたいです。(前日) 全国大会第3位という素晴らしい結果をだせて嬉しかったです。
- 中村希平 ぼくは、実は今回の大会で2回目です。しかし、夏の全国大会とは全くちがうような気がします。その理由は自分でもよくわかりません。けれど、ぼくは、まだまだこのチームでたくさん試合をしたかったです。全国大会はとても楽しい……
- 高市夢夢 感じたことのない体育館の雰囲気にとっても緊張しました。ですが、1本決めたり、1本ひろったり、いつものプレーができ、とても楽しかったです。
- 山本直輝 全国大会のこわさ、すごさを学びました。でも、点差を決めたときはすごくうれしかったです。
- 藤澤慶一郎 全国大会で仲間を信じる心、あきらめないでやりとげる心を知ることが出来た本当に感謝しています。
- 宮野祐治 全国大会に集まったチームは、すごい迫力で僕たちより、はるかに大きい人もいて、すごくワクワクしました。
- 中島未希 全国各地から代表が集まり、競い合う熱い気持ちやバレーボールをやることに感謝の気持ちを知りました。
- 小山内健成 見たことも聞いたこともないチームがいて背も高い選手ばかりで、とてもびっくりしました。試合では緊張もしたが、思いっきりプレーが出来るととても楽しかったです。
- ★佐藤志輔(保護者代表) 小笠原アカデミー教育振興財団様よりの助成金を頑張るこどもたちの遠征費として使わせていただき、保護者一同、心から感謝しております。一生の思い出となる有意義な時間となりました。本当にありがとうございました。



「第13回全国スポーツ少年団バレーボール大会」3月、北九州 附属函館ファイターズ・3位に輝き、有終の美を飾った。



助成金贈呈式 ①千代田小学校 リコーダークラブ (3月) ②附属函館ファイターズスポーツ少年団 小笠原孝理理事長・市教委、野馬次長・コーチ、選手代表



「第21回日本管楽合奏コンテスト」11月(東京) 函館日吉が丘小管楽バンド(最優秀賞)を受賞!



平成28年度の新規奨学生 9人に!

《設立当時よりの総数は189名となりました》

平成28年度の新規奨学申請は、大学、専門学校、高校より、成績優秀で向学心に富んだ学生さんの推薦をいただき、当財団の理事会において9名が決定いたしました。奨学金貸与の後にいった川内谷理事による講話では、小笠原アカデミー教育振興財団の無利子貸与は学生にとっては優しい制度ですので、修学後も努力を重ね、責任ある社会人になって下さいと話されました。

〈新規の助成事業〉書籍・書棚一式贈呈〔学校図書の充実を目的とする〕

函館市教育委員会推薦

函館市立桔梗中学校 校長 中村 吉秀
 ＊ 桔梗小学校 ＊ 宮越 忍

渡島教育局推薦

七飯町立藤城小学校 校長 村山 裕

平成28年3月14日・テアオーデパートにて贈呈式を行いました。

七飯町教育委員会 教育長 奥田 敏樹・函館市教育委員会 指導主事 小棚木 こずえ様のご来席のもとお言葉をいただきました。

小笠原理事長より各学校の生徒代表に目録をお渡し致しました。

各学校長よりは、文庫の利用方法の説明があり、また、報道の取材にも応じていただきました。

継続事業でもあります。



講師によるコンサート

『イカール国際ミュージックキャンプ2016 in Hakodate』

地域文化活性化に寄与することを目的に、一流音楽家を多数招聘し、広く全国や海外で活躍する芸術家の育成のほか、函館市内の幼少者から熟年者を対象に実施されました。

●主催／函館国際室内楽アカデミー（代表・岡田照幸）

●開催／平成28年8月20日 函館市芸術ホール

※コンサート開催当日（開演前にステージにて）



一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団 小笠原孝理事長より助成金の贈呈を行いました。



平成28年度定時総会 2016・7・29 函館新聞社ビル会議室

一般財団法人 小笠原アカデミー教育振興財団

平成28年度 役員名簿			評議員名	
理事長	小笠原 孝		小笠原 正	
業務執行理事	小笠原 謙		小笠原 康正	
理事	小笠原 弘		齊藤 良昭	
＊	野又 僚		丹 昭子	
＊	安島 進		近野 功	
＊	橋本 守		庄司 澄枝	
＊	川内谷 健三郎		羽根田 茂信	
＊	平野 利明		小笠原 勇人	
＊	竹内 行雄		野村 辰男	
監事	齊藤 一雄		成田 豊	
＊	村田 亮二		野口 博敏	

一般財団法人 小笠原アカデミー教育振興財団

事務局／(株)テーオー小笠原 連絡先／函館市海岸町9-18 ☎0138(84)5396

「昭和55年設立」株式会社テーオー小笠原の創業者、故、小笠原亀吉翁の意志でもあった青少年の育英「地域社会・経済の発展を担う人づくり」を具現化するために、小笠原亀吉翁の遺産の一部を基金として後継者が財団小笠原アカデミー財団を設立いたしました。

初代理事長は、(故、小笠原金悦)二代目理事長は小笠原孝となり、今日まで数多くの学生に奨学金を貸与して参りました。利用された学生達は、修学の上、教育者・指導者の道、又社会の第一線で活躍される道に進んでおられます。

その後、基金の増額として、小笠原孝夫人(故、小笠原幸子)の遺産の一部と、小笠原理事長個人の(株式、持株)の寄贈等によって更なる充実を計りまして、平成24年には一般財団小笠原アカデミー教育振興財団に名称を改め、新たに教育機関等への助成金を加えまして、一段と社会貢献に努めております。



〈附属函館ファイターズの佐藤選手を激励する理事長〉

理事長 小笠原 孝

諸君の可能性を咲かせよう

向学心に燃える若人へ奨学金 奨学生の募集要項

【資格】

- ・原則として、道南地方の住民の子女であること。
- ・大学又は大学院、専門学校又は専修学校、高等学校に在学する者。
- ・向学心に富み、かつ修業の見込みがあること。
- ・経済的な理由により、就学困難な事情があること。
- ・将来、国家及び社会に役立つと認められる者。

【貸与額(月額)】

- ・大学又は大学院 25,000円
 - ・専門学校又は専修学校、短大 20,000円
 - ・高等学校 15,000円
- ※奨学金は原則として、6ヶ月分を一括貸与する。(年2回)

【返還】

- ・奨学金の貸与が終了した日から1年を経過した日以後、貸与を受けた年数の3倍の期間内に返還すること。
- ・返還方法は年賦、半年賦、月賦、その他の方法による。

【申込方法】

- ・所定の用紙(在学学校または財団事務局に申請)に必要な事項を記載し、必要とされる書類を添付の上、在学学校を通じて申し込む。

申込期間 例年：4月1日～5月末日まで

教育の振興機関に助成金 教育機関等への助成要項

【助成対象】

- ・学校等の教育機関及び地域社会の教育の振興に関わる機関。

【助成額】

- ・助成額は1案件につき事業費の50%とし、上限を30万円とする。

【申請書】

- ・申請書の様式は特に問わないが、下記事項を明記のこと。
- 1、事業名称・代表者名
- 2、事業及び費用の概要・収支計画書
- 3、行政からの推薦書(函館市教育委員会・渡島教育局)

【例1】

- 〇小学校□□部 全国大会(東京)へ出場が決定しましたので、旅費などの一部を助成していただきたく。

【例2】

- 〇中学校□□研究大会開催における費用の一部を助成していただきたく。

【例3】

- 〇教育団体の□□教材の充実を計るための費用の一部を助成していただきたく。

申請は随時受付(但し、理事会の承認後の決定となります。)

■詳しいお問い合わせは当財団事務局(連絡先)へ

〒041-0061 函館市海岸町9-18 電話 0138-84-5396